交通・都市構造班 発表者



清水宏樹



井澤寛生



田代智之



夏本俊輔



根岸晴香



宮沢菜々子

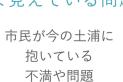




現在と未来の問題は異なる



いま見えている問題





今後見えてくる問題

これからの土浦を 考えたときに 現れてくる問題



様々な交通問題







車に対する 問題

交通事故

渋滞

環境問題

する公共交通に類対する問題

駅やバスが遠い バスの便数減 料金が高い 移動困難地域における問題

バスの廃線 運転できない 乗合タクシー

人によって問題は異なる

	公共交通に アクセス できる	公共交通に アクセス できない	
マイカーを 使える	今のところ 不満はない?	「 車を」 もっと 便利に	
マイカーを 使えない	「公共交通を」 もっと 便利に	どこにも 行けない	



車に関する問題

交通事故 渋滞 環境問題

市町村別交通事故発生数 古河市 29年 30年 常総市 筑西市 守谷市 取手市 つくば市 石岡市 かすみがうら市 交通事故県内 土浦市 阿見町 牛久市 龍ヶ崎市 神栖市 鹿嶋市 日立市 那珂市 ひたちなか市 水戸市 笠間市 9 茨城県警察 交通事故発生状況 9月

事故が多い場所



高架橋付近

- 高架橋の橋脚で視界が悪い
 - 合流部

長い直線道路

- 信号がなく速度超過
- 交差点の見通しが悪い
- 速度超過で認知遅れ
- 長い直線区間速度超過

渋滞の要因



高架構造

合流が滞る

高架下の信号が青になるまで 時間がかかる



片側一直線

バスもよく通り 停車するバスを追い越せない

走行する自転車を追い越せない



公共交通に関する問題

駅やバスが遠い バスの便数減 料金が高い

画像引用: https://1821tc.files.wordpress.com/2017/05/243fh010018.jpg

公共交通



▶キララちゃんバス

中心市街地を回る第三セクターバス

▶民間バス

関鉄やJRなどの運行するバス

▶JR常磐線

市内を南北に貫く鉄道

● 便数

キララちゃんバス

40-50分間隔 右・左回り7便

▶運賃

大人:150円 子供:80円

▶目的

- 1. バス利用不便地域の緩和
- 2. 中心市街地の活性化
- 3. 公共交通利用の促進

干フフちゃん A コース市民会館循環 **HARR** Bコース電域公園循環 土浦駅を拠点とした3路線 (Aコース・Bコース・Cコース)

5

キララちゃんバスの街づくりへの貢献内容 母数3 4 2 まちづくり活性化バス利用促進調査研究報告書 H29年3月 乗客アンケート調査より 合計 不明 C B A 0% 20% 40% 60% 80% 100%

■賑わいづくりに役立っている■外出機会を増やしている

■特に効果はない

■その他

土浦駅周辺の賑わい増:約3割 高齢者の外出頻度増:約6割

1 7



常磐線

- 便数・運賃・終電に不満 他地域と比べて大差がない
- ▶ 路線事故の発生早急に改善すべき問題
- ▶ 土浦駅前の混雑出勤・帰宅ラッシュ時の混雑

画像引用:https://blog-001.west.edge.storage-yahoo.jp/res/blog-57-68/july_651_hitachi/folder/1648052/93/54288793/img_0

1 9

キララちゃんバス 利用者



H26年までは増加傾向だがH27年は減少

利便性が低いため市民からは増便が望まれる一方で利用者減や財政負担から行政は手を引きたい意向も

8

常磐線の本数・料金等

常磐線の料金

	1から3キロ	4から6キロ	7から10キロ	11から15キロ	16から20キロ
常磐線	140円	190円	200円	240円	320円
JRの基準営業キロ	140円	160円	170円	220円	310円

常磐線の本数

			普通	特別快速	特急	その他	合計
土浦駅	上り	平日	63	6	26	0	95
	下り	平日	43	0	26	0	69
	上り	休日	59	6	27	4	96
	下り	休日	43	0	29	5	77

本数が少ない、料金が高いとは言えない







民間バス

- 便数・運賃・終電に不満 他地域と比べて大差がない
- ▶ 時間に不確定性 バスロケーションシステムの導入
- ▶ バス本数に偏り 適切な便数配分

画像引用:https://1821tc.files.wordpress.com/2017/05/243fh010018.jpg

2



平日1日当たりの バス運行本数

地域ごとに ばらつきが あることが問題



移動困難地域における問題

バスの廃線 運転できない高齢者 乗合タクシー

バスの廃線と乗合タクシー



バスの廃線

道路運送法の改正 平成13年度以降40系統以上の バス路線が廃止 移動困難な地域が発生



乗合タクシー

乗合タクシー土浦 移動困難な高齢者をカバー 利用者数は増加している しかし利用方法が煩雑



「土浦市高齢者移送サービス利用助成券交付申請書」 をダウンロードして記入



市役所に提出し助成券を発行してもらう (郵送も可)



乗り合いタクシー土浦に電話し会員登録。 電話後職員が自宅まで年会費を 徴収しにくる。その後1年利用可能。

高齢者には難しいシステム…

初期登録の簡易化が求められている



土浦市MPで指摘される これからの土浦の問題







公共交通の 脆弱化



商業の郊外化 中心市街地衰退









郊外に商業施設が集積広い駐車場・広い売り場・多彩な店舗







逆に中心市街地は衰退

●調査結果(中心市街地空き店舗数)の推移

土浦市『平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告』(最終閲覧11月8日) http://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1529651604_doc_

▶地価が高い

駅周辺の地価は郊外部の2~4倍

▶駐車場が狭い

立体駐車場の整備コストは 平面駐車場より遥かに高い

▶土地が狭い

駅周辺は土地が細分化され 地権者が多く複雑

都市 拡散

今の土浦は あまり集約されてない

土浦市の人口の8割は 市街化区域内に集中

市街化区域が立地適正化 計画の範囲に指定

立地適正化計画をしても コンパクトにならない

私たちの抱く課題意識

土浦は将来的な都市構造リスクが高い



公共交通 志向型の街へ

高齢で運転できない 市民の増加に対応



都市が拡散 しすぎている

居住誘導区域 都市機能誘導区域 の範囲が広い



中心部 交通が貧弱

> まちなか 同游性が低い

The Power of PowerPoint | thepopp.com







写真はすべて都市機能誘導区域

都市機能を集める範囲が広すぎて結局散逸な立地





中心部の回遊性は低い



きららちゃんバスの経路

中心部の周遊性を高める目的の バスなのに一周に40~50分かか るなど、経路が長い



中心部の自転車利用状況

中心部ですら自転車に配慮したネットワークはできていない



中心街の昼間人口は 多いが街中に 人は少ない

まちなかの 回遊性が低いせいでは?

38



トレンドは自動運転

運転手のアシストをしてくれるものから、全自動で運転してくれるものまで程度は様々

高齢者の移動支援

交通事故削減

渋滞の緩和

環境負荷の低減

自動運転には課題が多い



制度面での混乱

完全な自動運転(L3)を目指すと 有事の際の法制度的な問題が残る



道路面認識が難しい

自動運転制御では既存の路面のレーンマーカや 路肩のインフラストラクチャを利用するため 道路面が汚いと識別対象を認識できない可能性



自動車社会化の加速

自動運転車両が極度に普及すると 公共交通利用は減少する

The Power of PowerPoint | thepopp.com

電気自動車の課題

対象施設	対象施設事例	目的地充電の基数目安
商業施設	ショッピングセンター・百貨店・GS・コンビニ	駐車可能台数に対する基数目安
宿泊施設	ホテル・旅館	~ 333台 1基 ~ 1444台 6基
観光施設	自然施設·歷史施設·温泉施設	~ 555台 2基 ~ 1666台 7基 ~ 777台 3基 ~ 1888台 8基
遊戲施設	遊園地・動物園・水族館・レクリエーション施設	~ 999台 4基 ~ 2111台 9基 ~1222台 5基 ~ 2333台 10基
公共施設	自治体所有施設·公園·病院	1222 0

公共施設に充電器がない

充電には経路充電と目的地充電の2種類の目標がある

経路充電は充実しているが目的地充電は 大型SCやホテルに充電器がある一方、 公共施設には殆ど充電器がない

自動運転に関わる技術







ICT

インターネットに 接続しICT化した コネクテッドカー

電気自動車

構造がシンプル 自動運転と 相性が良い

カーシェア

安価さと環境負荷 低減が魅力

まとめ

- 自動車事故や渋滞が 数多く発生している
- 公共交通の便数等 利便性が低い
- 都市機能誘導区域が 広すぎる
- まちなかの回遊性が 低い
- 路面状況が悪く 自動運転に適さない
- 電気自動車の 充電スタンドが無い